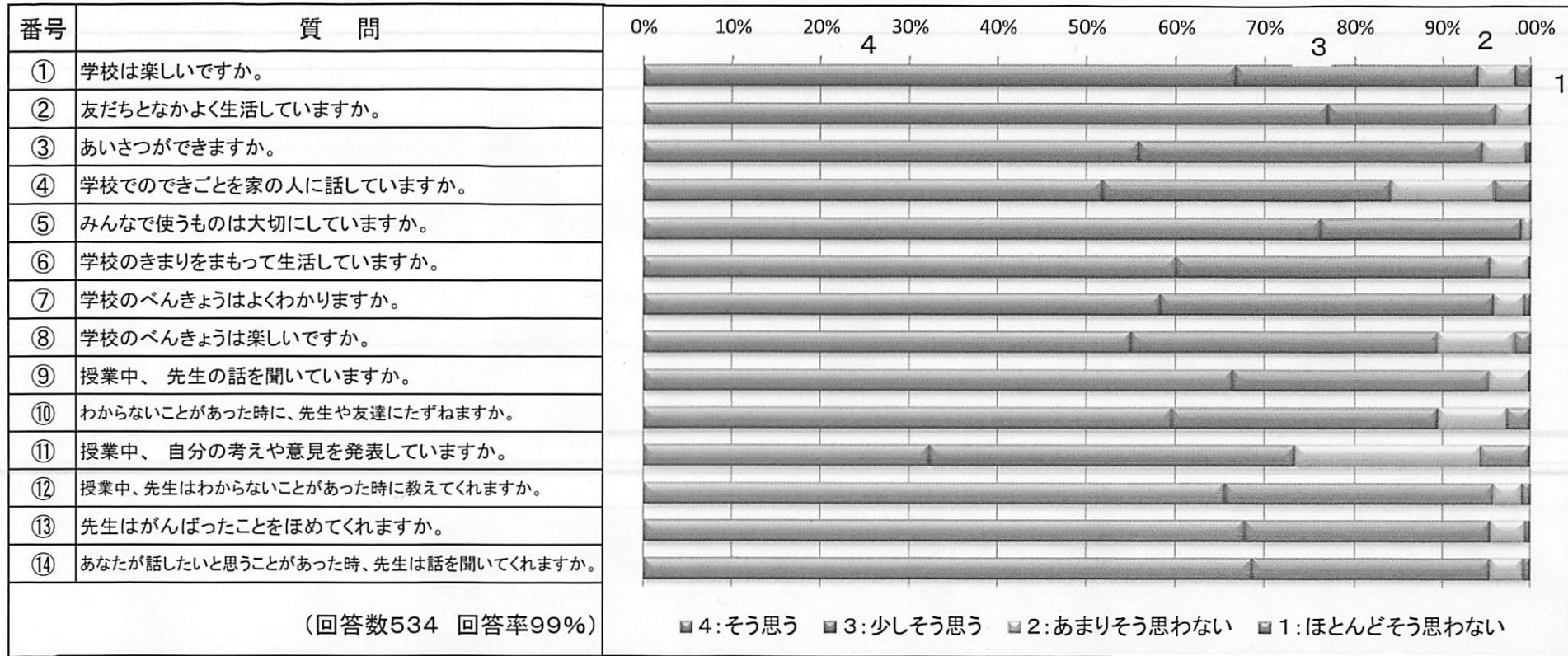


平成27年度

## 児童用アンケート集計結果



まず、「そう思う」「少しそう思う」が90%以上の項目を挙げると、①楽しい学校生活、②友達との仲の良い生活、③あいさつ、⑤公共物の扱い、⑥きまりを守った生活⑦勉強の理解、⑨授業への取り組み、⑫⑬⑭教師の対応の10項目になる。(昨年は⑩わからないことを尋ねるも90%を越えている)子供たちがきまりを守り友達と仲良く過ごしている姿が見て取れ、本校学区の子供たちの、健全な規範意識が身に付いていることを感じる。また、教師と子供の関係も良好なことが覗える。保護者アンケートにおいて低い評価だった「物を大切にできる態度」は、みんなのものは大切にしますが、個人のは案外大切にしないということであろうか。いずれにしても、家庭と学校が連携して、ものを大切にできる心を一層育てていく必要がある。

一方、「そう思う」「少しそう思う」が80%以下の項目を挙げると⑪授業中の発表の1項目になる。(昨年同様)⑩わからないことを尋ねるが90%を割ったことから子供たちは学校で十分に自らの思いを表出していないと感じている。教師が授業において発表ができるような環境づくりや子供の主体的な活動を促す手立てが望まれる。さらに、項目⑧では、10%の子供たちが「勉強が楽しくない」と答えている。子供たちが自主的に学びに向かえるように、学習内容の理解が深まるようにさらに学習の方法を考え、適切な支援を行う必要がある。